

課題の一致に基く行動の統一から

徹底した相互批判による認識の一致へ！

6.28 総括会議 (1C工学部 B401R203) — 7.2 全学集会 (2C工学部 階段教室)

市入のすべての教員、学生、院生の認識、治安立法に対する斗いが全国化し、激化している現在、我々は市入から千五百の強固なスクラムを治安立法粉碎の矛を御堂前を圧倒的に勝ちと、大事をきき確認しなくてはならないか。又、我々は市入において新下は立法粉碎の大家の斗争の基盤を我々自身の手で創造したこともはっきりと確認しなくてはならないか。我々6.28統一行動委員会立法粉碎の確信ある斗争主体を自ら作り上げることに、今何各組織、各クラス、各サークルと更なるより内実のある統一を実現してゆこうと意をあらわした。先目、6.281C工学部において簡単な総括を行い、市入にきく大家の基盤を造ったという意味において、ひとつの立法粉碎の大家の結束軸を造ったという意味で圧倒的に成功であったが、しかしさらに斗いを進めてゆくには、まだかなりの不十分が残っている事を確認した。例えは、大勢当局との具体的な接点である20、41、47、66等の声明に対する対応はどうするのか。あるいは、各戸へ助教、講師、助手、院生、学生への間の斗争に対する認識の統一はどうするのか。又、大学—安保—沖縄斗争の複合的、重層的な政治過程への斗いはそしてその全国性の追求は……。二からの課題について徹底した討論をさらに我々の奥付室内で行い、我々の認識を深める事を抜きにしては二の統一戦線の前より全面的進展はあり得ないであろうし、又、我々はこの全面的に受けとめ、更なる次の斗いへ発展させる決意がある。

そのいみで6月28日—1C工学部四—0920三で総括と展望について、大勢的におし進めることにしている。そして次の斗いの最前線方針を7月2日、全市大総括集会として、圧倒的に、より確実な意志統一をもちとらうてはならないか。すべての諸君は、6、28総括集会、7、2全学集会に主体的に参加し、確実な全体的な意志統一をはかりとらうてはならないか。

すべての斗う諸君、

我々のあつた、20の大家の斗争を基に更なる斗いを組もうてはならないか。そして我々の、二の自らの手を新下は歴史をつくりあげようてはならないか。全ての諸君の徹底した討論を組織しようてはならないか。

すべての斗う諸君、

6、28総括集会、7、2全学集会に結果せよ。課題の一致に基く行動の統一から、徹底した相互批判による認識の一致まで高めるべく、6、287、2を準備せよ。

全市入の斗う諸君、

各組織、各クラス、各サークルは徹底した討論をつみあげ、整理し、6、28総括集会、7、2全学集会へ総括集めよ。

6.20 立法粉碎  
統一行動委員会